

## 地域交流の拠点「ガレリア新蔵」

### 事業のポイント

- 展示室の常設パネルを用いて、徳島大学を広く紹介する。
- 企画展示などにより、徳島大学が所有するシーズ情報を発信する。
- ギャラリーフロアを学内外の団体やサークル等に貸し出し、利用に供する。

### 事業の概要

#### 1. ガレリア新蔵の概要と目的

ガレリア新蔵「展示室」では、本学の沿革、組織、理念・目標、学部紹介などを和英2ヶ国語で標記した「常設展示」と、教育・研究等、本学の様々な活動を取り上げた「企画展示」を行っています。ギャラリーフロアは、学内外の団体やサークル等に貸し出し、展示や催しなどの利用に供することで、地域交流の場として利用が広がっています。

#### 2. ギャラリーフロア開催状況

利用状況は下記の通りです。

- ① 竹と桜のオブジェを展示(4月6日～4月13日)
- ② 「文豪モラエスの徳島」パネル展示(第1回)  
(8月2日～9月24日)
- ③ 大学開放実践センター「楽しみながら学ぶ書道」  
春期受講生作品展(9月27日～9月30日)
- ④ 中野建吉写真展 残された記憶—ふるさとへの憧憬—  
(10月5日～10月9日)
- ⑤ 平成24年度徳島大学職員文化祭  
(10月20日～11月1日)
- ⑥ 「文豪モラエスの徳島」パネル展示(第2回)  
(12月5日～12月14日)
- ⑦ 大学開放実践センター「楽しみながら学ぶ書道」  
秋期受講生作品展(12月20日～12月22日)
- ⑧ 「巨大ピカソとクレールと花を観よう!」  
(1月17日～1月23日)
- ⑨ 『「いやし空間」から見た異文化交流』写真展  
(1月25日～1月31日)

### 事業代表者・連絡先

佐野 正孝 (地域連携戦略室長)  
連絡先: 〒770-8501 徳島市新蔵町2-24  
tel: 088-656-9752 fax: 088-656-9965  
e-mail: galleria@tokushima-u.ac.jp

- ⑩ 平成24年度徳島大学しんくら展  
(2月2日～2月14日)
- ⑪ 国際交流サロン「地域と留学生による書華道展」  
(2月16日～2月22日)
- ⑫ 徳島大学絵画表現研究室 平成24年度卒業制作展  
(2月24日～2月28日)
- ⑬ 国際交流サロン「日本語でしゃべらんで-ひな壇飾り」  
(3月2日～3月11日)
- ⑭ 徳島大学書道部・OB会書道展(3月14日～3月17日)
- ⑮ 大学開放実践センター「楽しみながら学ぶ書道」  
冬期受講生作品展(3月25日～3月28日)

#### 3. 「ガレリア新蔵」ギャラリーフロアの利用法等

「ガレリア新蔵」ギャラリーフロアは、徳島大学事務局と同じ徳島市新蔵町の徳島大学地域・国際交流プラザ(日亜会館)1階にあります。

利用希望の方は、下記の「ガレリア新蔵 Web サイト(URL)」で、「ご利用案内」から「ギャラリーの貸し出し」のページをご覧ください。使用申込にあたっては、下記サイトに掲載している申請書にご記入の上、申請書郵送先(〒770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地 徳島大学ガレリア新蔵)まで郵送して下さい。申請書は、ガレリア新蔵にも置いています。

なお、展示室の開館日は月曜日から金曜日の平日です。



ガレリア新蔵Webサイト:  
<http://www.tokushima-u.ac.jp/gs/>

**病院** 社会に開かれた病院として、地域医療機関との密な連携、国内外との人的交流の促進、様々な組織との連携を推進して社会貢献を実施しています。以下に取組の1例をご紹介します。

## 成長期スポーツ選手に対する検診活動

### 事業のポイント

- こどもでは成長途上にある骨や軟骨が傷みやすい。
- 障害の早期発見と予防の啓発。

### 事業の概要

#### 1. 事業の目的

成長期のスポーツ選手では、発育途上にある骨や軟骨が傷みやすい。初期には症状が乏しく、進行すると日常生活にも支障をきたすことがある。そこで、障害の早期発見を目的に小学生スポーツ選手を対象とした検診活動を行っている。

#### 2. 事業の取組状況

野球は1981年(写真1)、サッカーは1985年(写真2)から毎年大会現場に出向いて検診を行っている。野球は7月中旬、サッカーは8月下旬に実施している。いずれも大会現場で診察を行い、障害が疑われた選手には病院受診を勧めている。また、2007年から診断精度を高めるためにポータブルエコーを現場に持ち込んでいる(写真3)。

#### 3. 事業実施による成果と今後の展開

いずれの検診においても障害を早期に発見できるようになり、従来に比べて重症例は少なくなっている。特にポータブルエコーの導入により障害の発見率は高くなっている。こうした活動により現場の指導者や保護者の障害に対する意識が高まっているが、まだ十分とはいえず、教育啓発が今後の課題といえる。

### 事業代表者・連絡先

松浦 哲也 (大学病院・講師)  
〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18-15  
tel: 088-633-7240 fax: 088-633-0178  
e-mail: tmatsu@clin.med.tokushima-u.ac.jp



写真1 野球検診の様子



写真2 サッカー検診の様子



写真3 ポータブルエコーによる検査